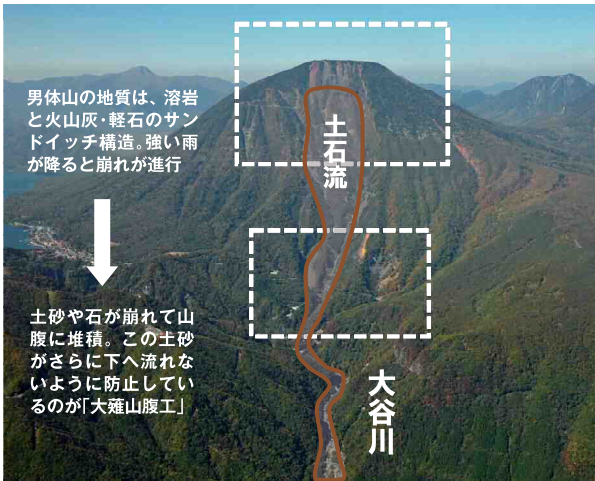


男体山

その傷、実は「崩れ」



薙刀でえぐったような傷のような跡は崩壊によって生じたもの

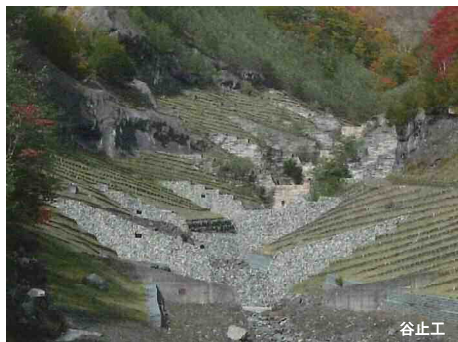


おお なぎ さん ぶく こう
大雑山腹工

日光のシンボル・男体山。名は体を表わすの例えどおり、男らしい威容のこの山が現在も日々、崩壊していることをご存知ですか。

男体山の構造は、溶岩の間に火山灰や軽石が挟まれたサンドイッチ状になっています。その火山灰や軽石が雨によって流れることで硬い溶岩が崩れ、堆積した土砂や軽石、溶岩が大雨によって土石流となり日光市街地まで流れ出す危険をはらんでいます。

それを防ぐために実施しているのが、大雑山腹工という工事です。「雑」とは、尾根部や山頂などから崩壊している「谷地形」のことです。



さらに詳しい情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭に立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉